妻ヶ丘地区地域福祉活動計画

つまがおか福祉計画

福祉のまち・かおがまつ会

平成15年5月

都　城　市

はじめに

少子高齢社会の到来や核家族化などを背景として、世帯構成や家族の機能が大きく変化していくなか、高齢者や障害者など、生活上の支援を要する人は一層厳しい状況におかれています。また、生活上の不安やストレスが増大し、自殺、家庭内暴力、虐待、引きこもりなどが新たな社会問題となっています。

今こそ、市民一人ひとりが手を携えて、身近な地域において助け合い、支え合いながら誰もが安心して暮らせる地域社会を築くための地域福祉の推進に努める必要があります。

今までは「誰々のために」ということでしたが、「みんなで一緒に」という時代になりました。「みんなの幸せ」のために何ができるのか、そのことに具体的に取り組んでいく時期を迎えております。人間、一生のなかで「ここに住んで良かった」と思えるところに住めることほど大きな幸せはありません。

そこで、誰もが尊重され、安心して暮らせるまちをみんなで一緒に作っていく社会の構築が切に望まれます。何にもなかった昔は、今ではうらやましいくらい人と人との心の支え合う社会がありました。しかし、物質的に豊かになった現在、逆にそういう点が寂しくなったと言われています。豊かになった時代にふさわしい豊かな心をお互いが持てたら、都城は必ずその名に恥じない良い町になると思います。

こうした思いから地域住民と一体となって推進するために「都城市地域福祉計画」及び11地区ごとに「地域福祉活動計画」を策定しました。

なかでも地区計画の策定にあたりましては、地域住民の主体的な参画を念頭に地域の特性や地域資源に配慮し、地域住民の身近な生活課題を踏まえた計画づくりを推進するために、都城市社会福祉協議会と協働し、11地区ごとの地区策定委員会を設置し、子どもから大人まで約250名の方々が原案策定に主体的に関わっていただきました。まさに、住民一人ひとりの責任において、地域福祉を進めていく姿勢を強く感じる計画となっています。

今後、本計画の実現に向けて、住民参画のもと地域福祉を推進して参りますので、住民の皆様のますますの御理解と御協力をお願い申し上げます。

おわりに、この計画策定にあたり、御協力いただきました11地区の地区策定委員会の皆様、そしてさまざまな御提言をいただきました住民の皆様に心からお礼を申し上げます。

都城市長　岩橋 辰也

地域の地域による地域のための計画

恵まれた自然や人の環境下にあっても福祉課題がたくさんあります。

その福祉課題を、地域住民とともに、行政も社協も手を取り合って解決していこうというのが、この地域福祉計画でしょう。

近年、地域福祉と言いながらも、誰からも看取られない孤独死等の事象は未だに地域で起こっています。地域の細かなネットワークがこれからますます必要とされることは言うまでもありません。

今回の作業には職員を大挙地域に送り出し、地域住民とともに福祉課題を語り合ってきました。社協として全精力を傾けて望んだものです。結果、これまでこつこつと積み重ねてきた地域福祉の実践を継承しつつ、「はずみをつける」そして「新しい風を求めて」みんなが思い描く地域像ができあがりました。まさに地域の地域による地域のための語り合いが、計画という形に結実しました。

この計画は、真に地域の福祉力が問われる内容となっています。これからが、住民にとっても社協にとっても本番です。

社協は、戦後の混乱期から民間団体として活動してきた歴史があります。我々はその歴史を踏まえ、住民に寄り添い、さらに日本一の社協を目指しています。その歩みは牛歩のごとく、一歩一歩前のみを見つめて進んでいます。

都城市民として、地域でともに仲良く暮らしていくために、一緒に歩いていきましょう。私たちは地域住民の応援団として計画を手に、求められる社協像を見失わず、元気（ウエルネス）を出して歩いていきたいと思います。地域関係者をパートナーとして。

社会福祉法人都城市社会福祉協議会

会長　佐々木 文雄

福祉のまち・かおがまつ会

妻ヶ丘地区地域福祉計画策定委員会

みんなで みんなの地域のために考えた「計画」です。
ぜひ読んでください! そして参加してください!

妻ヶ丘地区地域福祉計画策定委員会
福祉のまち・かおがまつ会　　**委員長　奈下　信芳**

地域福祉計画の策定にあたって

　妻ヶ丘地区地域福祉計画策定委員会は平成14年10月25日設立され発足しました。会の名称は「かおがまつ会」(妻ヶ丘の逆読み)と決まりましたが、この名称は妻ヶ丘中学校PTA男輻路会の名称として平成5年7月27日設立発足となっています。妻ヶ丘地区福祉推進委員会も平成4年10月1日設立発足で期せずして同時期の活動となっています。発足後、10年間の活動を総括する年での地区福祉基礎計画を策定委員会にて協議決定する事は非常に時宜を得たものと考えられます。委員21名の福祉に対する情熱と知恵と想いにより集約され策定されました。まだ不完全な面もありますが、地区住民の希望や意見等にて、より良い基本計画となります事を期待して基礎福祉計画書の発刊のお礼といたします。

都城市地域福祉計画　妻ヶ丘地区策定委員会委員
◆策定委員長／奈下　信芳　◆策定副委員長／久味木　フヂ

No	班	備　考	氏　名	役　職・所　属
1	A	リーダー	中村　孝一	地区福祉推進委員会　理事　一万城西部自治公民館長
2		記録係	川﨑　光雄	地区福祉推進委員会　会計　地区民児協
3			奈下　信芳	地区福祉推進委員会　会長　花繰自治公民館長
4			小川　孝三	県立泉ヶ丘高校　教頭
5			日高　厚子	市立上長飯小学校　福祉担当教諭
6			三巻　啓子	宮崎県都城児童相談所　相談判定係長
7			猪ヶ倉　タエ子	都城ボランティア協会　副会長
8	B	リーダー	久味木　フヂ	地区福祉推進委員会　理事　地区民児協　副会長
9		記録係	冨迫　忠美	市土木部建築課係長
10			北村　悦郎	地区福祉推進委員会　副会長　地区自公連副連協長、天神自治公民館長
11			徳山　清芳	地区福祉推進委員会　理事　地区高齢者クラブ連協長
12			永山　秀男	県立都城商業高校　教頭
13			田中　香里	市立東小学校　福祉担当教諭
14			竹之下　和生	地区住民代表
15	C	リーダー	竹之下　憲弘	地区福祉推進委員会　事務局長　東町自治公民館長
16		記録係	安楽　幸政	地区福祉推進委員会　理事　地区民児協　書記
17			高橋　紳一	さざんか苑　苑長
18			西村　清美	市立妻ヶ丘中学校　福祉担当教諭
19			江田　幸子	上長飯保育園　園長
20			服部　好広	地区ボランティア連協　事務局長
21			山脇　睦子	市健康福祉部健康課主査

策定委員会の様子

第1回

　策定委員会のメンバーがはじめて顔を合わせた日。福祉のまち かおがまつ会と会の名称も決まり、いよいよスタートです!

第2回

　妻ヶ丘地区における問題点は何???
高齢者・障害者・児童のことについて真っ先に取り組まなければならないことを委員の一人ひとりが出しあいました。

第3回

　計画作りの本番!問題点を分析して、問題に対する課題をあげ、改善策や推進施策を協議しました!

第4回

　第1段階、第2段階、第3段階、そして、もっと先の夢へ向かって・・・一歩一歩前進するように願いを込めて計画を策定しました。

第5回

　福祉のまちへの夢を実現に向けてこれからみんなで頑張るゾ!!!

妻ヶ丘地区ってどんなところ？

地域の特徴

■妻ヶ丘地区は、西は国道10号近くから、東は三股町との境までの11町16自治公民館から成り、世帯数は約7,800世帯、人口は約18,700人です。

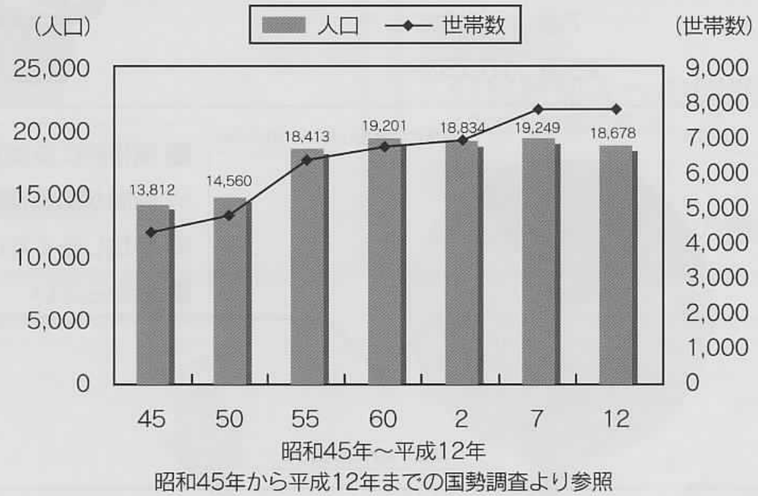
■妻ヶ丘地区は歴史あるまちで、戦国時代に北郷氏が伊東氏の一万人ともいわれる大軍を迎え撃ったとされる「一万城」や荘園の役人の役職名から付いた「弁済使(べんざし)」などユニークな地名に反映されている。
また、昭和5年には旧制都城中(現都城泉ヶ丘高校)が小松原から現在地に移転開設されており、都城地域の高等教育の拠点でもあった。

妻ヶ丘地区の位置

妻ヶ丘地区の人口・世帯数の変化

人口構造

	昭和45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年
世帯数	4,230	4,705	6,329	6,701	6,905	7,797	7,795
人　口	13,812	14,560	18,413	19,201	18,834	19,249	18,678



昭和45年から平成12年までの国勢調査より参照

地区ごとの人口(平成15年4月1日現在　住民基本台帳人口)

		上東	東町	天神	妻ヶ丘	中原	一万城
地区人口		708	819	640	1,134	665	4,423
男女別人口	男	324	364	292	526	305	2,043
	女	384	455	348	608	360	2,380
0歳～14歳		101	94	83	170	93	832
15歳～64歳		414	471	402	695	413	2,904
65歳以上		193	254	155	269	159	687
		広原	菖蒲原	上長飯	若葉	花繰	合計
地区人口		1,468	1,788	4,627	2,088	831	19,191
男女別人口	男	705	852	2,220	1,023	388	9,042
	女	763	936	2,407	1,065	443	10,149
0歳～14歳		190	278	835	348	128	3,152
15歳～64歳		970	1,105	3,039	1,439	534	12,386
65歳以上		308	405	753	301	169	3,653

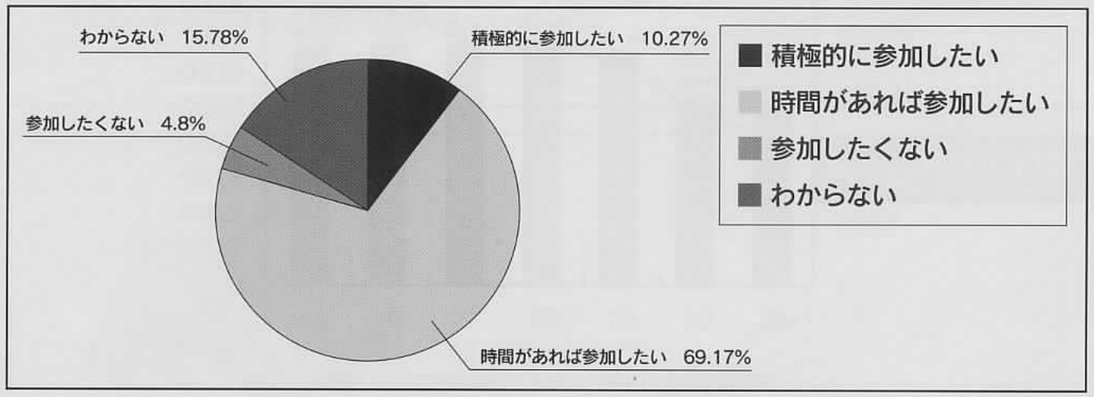
妻ヶ丘地区ふれあいアンケート結果

（平成12年10月実施）

「地域福祉ボランティア活動」についてどう思われますか？

有効回答数:146通

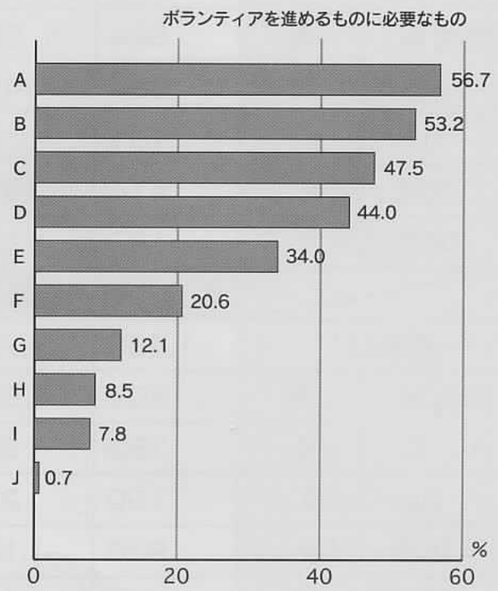
A 積極的に参加したい	15通	10.27%
B 時間があれば参加したい	101通	69.17%
C 参加したくない	7通	4.8%
D わからない	23通	15.75%



「地域福祉ボランティア活動」を進めていくためには何が必要ですか

有効回答数:141通（複数回答）

A リーダーとなる人材の養成	80通	56.73%
B ボランティア活動の研修室	75通	53.19%
C 活動の「拠点となる施設	67通	47.51%
D 活動内容のPR	62通	43.97%
E 関係団体の協力	48通	24.04%
F 費用や機材	29通	20.56%
G 福祉施設の協力	17通	12.05%
H 地域の学校の協力	12通	8.51%
I ボランティアへの謝礼金	11通	7.8%
J その他	1通	0.7%



自慢できるもの

その1
子供から高齢者まで参加する歩こう会

その2
道路美化や花いっぱい運動、河川清掃活動

その3
高木原緑道

その4
総合運動公園

解決したい課題

その1
世代間のコミュニケーションの促進

その2
交通量が多く事故の危険性が高い

その3
公民館加入への促進
（未加入世帯の解決）

その4
社会参加活動への推進

ぜーんぶひっくるめて

みんなの地域の良さの再発見

ぼくたち、わたしたちの住んでいる地域ってこんなところだったんだ!!

どんな資源があるの？

妻ヶ丘地区ってどんなところ（社会資源）

■ 上東町

公民館:1館　人口　704名　民生委員･児童委員2名
施　設:ウエルネス苑都城･グループホームウエルネス･東小学校･都城商業高校･児童公園

■ 東　町

公民館:1館　人口　816名　民生委員･児童委員2名
施　設:都城税務署　都城警察署　東町郵便局　勤労者会館

■ 天神町

公民館:1館　人口　642名　民生委員2名
施　設:児童公園2ヶ所

■ 妻ヶ丘町と中原町と合同で中妻地区

公民館:1館　人口　1,789名　民生委員3名(1名欠)
施　設:妻ヶ丘中学校　都城泉ヶ丘高校　都城総合運動公園　高木原用水路(緑道)

■ 一万城町

公民館:東部 西部 南部の３館　人口　4,455名　民生委員5名
施　設:国民年金や社会保険の相談ができる社会保険事務所･一万城郵便局･保育園２施設

■ 広原町

公民館:1館　人口　1,434名　民生委員2名
施　設:広原教育集会所

■ 菖蒲原町

公民館:1館　人口　1,825名　民生委員3名
施　設:都城消防本部･公共職業安定所･保育所･水道局水源地･簡易郵局･児童公園

■ 上長飯町

公民館:小鷹　弁済使　竹町　福島　坂元の5館　人口4,633名　民生委員7名(2名欠)
施　設:介護や福祉の支援ができるさざんか苑(東部在宅介護支援センター)･上長飯小学校･保育園･児童館･小鷹神社

■ 若葉町

公民館:1館　人口2,110名　民生委員3名　主任児童委員2名
施　設:簡易郵便局･第2･第3高木原緑道公園･児童公園3ヶ所

■ 花繰町

公民館:1館　人口　857名　民生委員1名
施　設:児童相談所･県木材技術センター･花繰交番･児童公園

今、ぼくたち、わたしたちの地域 ではこんな活動もしています!

妻ヶ丘地区福祉推進委員会って知ってる?

1 目　的

自主的な福祉相互組織で、地域福祉の向上を目的としています。

2 構　成

妻ヶ丘地区内の自治公民館長、民生児童委員、軽度生活援助員、高齢者クラブ等で構成する団体で、市社協からの補助金で運営しています。

3 事業内容

ア．高齢者福祉に関すること
イ．児童、母子・父子家庭、寡婦の福祉の向上に関すること
ウ．心身障害者福祉に関すること
エ．たすけあい運動に関すること
オ．ボランティア活動に関すること
カ．その他地区内の福祉、並びに在宅福祉に関すること

4 平成14年度の事業概要

ア．各自治公民館が実施するふれあい会食や七夕まつりなど24の行事を通じて、高齢者・障害者・児童等を含む「ふれあい活動」を支援しました。
イ．軽度生活援助制度により講習を受けた「軽度生活援助員」が、介護保険制度基準に満たない高齢者を対象に、週2時間の軽度な家事援助を実施して、大きな心の支えとなって活躍しています。平成14年度は、延5名を支援しました。
ウ．福祉だより「えがお」を、2ヶ月に1回の割合で発行し、これを全公民館に配布・回覧していただき、事業の普及に努めています。
エ．地区社会教育関係団体連絡協議会等で行う「ふれあい祭り」「歩け歩け大会」「上長飯・東小学校区盆踊り大会」へは、各委員積極的に取り組んでいます。

児童クラブによる畑の世界活動

こんなことがあったよ!

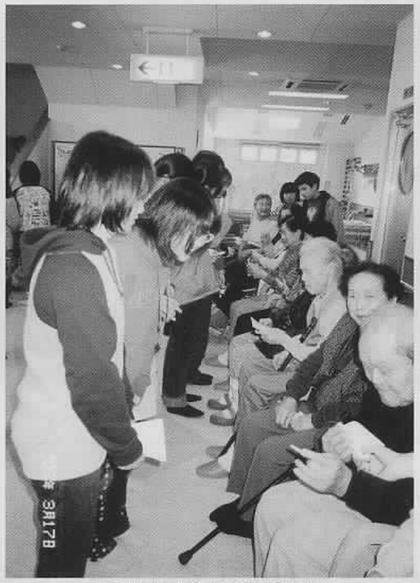
子供の視点に立って、より豊かな生活体験を提供できるよう地域でのボランティア活動や各種団体との交流に取り組んでいます!!

高校や大学のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちといっしょに、野菜をつくりました!たくさんとれたよ!!

学校での活動から

妻ヶ丘地区には2ヶ所の小学校、1ヶ所の中学校、2ヶ所の高等学校があり、それぞれの学校ごとに地域内において様々な活動を行っています。

■ 東　小　学　校～高齢者との交流として敬老会の開催や運動会への招待。
■ 上長飯小学校～高齢者への手紙プレゼント、地域施設での交流活動。
■ 妻ヶ丘中学校～学校周辺の道路や緑道の清掃。大淀川クリーン大作戦。
■ 都城泉ヶ丘高校～高齢者施設へのボランティア活動。学校周辺の清掃活動。
■ 都城商業高校～高齢者福祉施設へのボランティア活動。家庭クラブで作成した雑巾等を保育園等へ寄贈。


高齢者福祉施設への訪問活動

ボランティア活動から

地区ボランティア会や婦人部による高齢者への食事会や食事(弁当)宅配、各グループの有志による一人暮らしの方々への訪問や介護認定申請中の生活援助などの活動をしています。

個々人としての施設訪問、点訳、手話、聴覚障害介助、車椅子移送ボランティアなどにも多数の方が参加しています

地区の敬老フェスティバル

◆在宅介護支援センター◆

都城市東部在宅介護支援センター　　電話 26-2789

平成7年4月に都城市より委託を受けて、都城市東部在宅介護支援センターが開設しました。主に、概ね65歳以上の高齢者に関する都城市の福祉サービス相談をはじめ、サービス利用に伴う代理申請などを行っています。

また、介護保険制度を利用される方々の相談や各種関係機関との連絡調整、そして、地区民生児童委員等との連携を図りながら地域の高齢者が安心して生活が送れるように日々努めています。

それでは何をしなければいけないの

活動の様子

地域内での取り組みから…

いたっみろ会

血圧はどげんじゃろか？
絶好調やなぁ！
これからもみんな健康で元気に
頑張っていきましょうね!!

食事もおいしくいただきました

ボランティアさんが
一生懸命つくったお料理。
とってもおいしくいただきました!!

小学生の高齢者福祉施設訪問

肩をもんでもらって、
とてもいい気持ち!
みんな笑顔のたえない一日でした!

子どもたちのお菓子づくり

手も顔も真っ白になりながら
お菓子をつくりました。
つくった後は、もちろんみんなで
いただきました。
おいしかったで～す。

だから、地域福祉

誰もが安心して暮らせる
妻ヶ丘地区を目指して

地域住民が一緒になって
みんなで考え!みんなで支えあい!
みんなで解決する!
地域の「しくみ」をつくりましょう

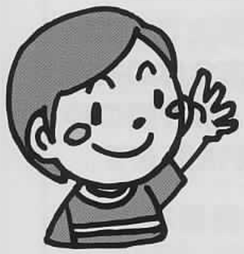
となり
近所で…

所属している
団体で…

学校と
一緒に…

施設や
病院と…

企業と
一緒に…



そのために策定委員会で
話し合いました

市の計画と地区の計画の関係

都城市地域福祉計画

ウェルネス都城の実現「みんなですすめる地域福祉」

○福祉サービス
・利用援助、質の向上等

○社会福祉を目的とする事業
・福祉人材の育成等

○住民参加・参画の促進
・ウェルネス事業との連携
・地区社協の充実等

地区計画（11地区）
地区「地域福祉活動計画」
つまがおか福祉計画
（平成15年5月）

都城市地域福祉活動計画

地区の計画は、市計画を実現するための行動計画です　アクション！

住民参加・行動計画
地域福祉活動計画
社協基盤強化計画

改訂（平成14年度～15年度）

健康日本21計画
児童育成計画
障害者計画
高齢者計画

福祉のまちづくり条例

地区の課題は

地区で解決できない課題や市全体の共通課題は、市計画の中で検討いたします。

ご提言を！

つまがおか福祉計画

その1「みんなが安心して生活できる妻ヶ丘地区」

○地区策定委員と自治公民館、民生委員児童委員、ボランティアなど地域の組織が中心となって、バリアフリーの状況や地区の人々の願いや問題点など、地域が必要とする情報を得るために実態を知るよう努めましょう。

※バリアフリー・・・障害のある人が社会の中で生活していくうえで障壁（バリア）となるものを取り払うという意味で、もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁を取り払うことをいう事が多いが、より広く障害のある方の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的すべての障壁を無くすという意味も用いられる。

○地区の福祉、環境の向上の基礎となる自治公民館加入促進の取り組み方法をみんなで協議して進めましょう。

○地区福祉推進委員会の組織の拡充、強化を通して、生活全般のことを気軽に相談できる地区の相談窓口の設置を推進しましょう。

○研修会や学習会、福祉教育を通して、地域のボランティアや軽度生活援助員などボランティアの人材を増やし、育成して、地区内の様々な課題に対する体制をつくりましょう。

○地区内の人々の願いや問題点の対応をまず地区全体で取り組み、将来的に自治公民館単位で取り組んでいけるようすすめていきます。

（活動例）実態把握、妻ヶ丘安全マップ作成、公民館加入促進の取り組み、ボランティア募集・育成、軽度生活援助員募集、研修会・学習会、自治公民館にサロン設置

その2「みんなで支えあえる人づくり」

○地区福祉推進委員会が中心となり、地区の中の人材を発掘し、行事等の継続した取り組を通し、人づくりの輪を広げましょう。

○自治公民館、民生委員児童委員、高齢者クラブ、ボランティア団体や地域で活動している人・団体の地域ネットワークの形成・強化を図りましょう。

○大人も子供もいっしょに積極的に行事に参加し(企画をするなど)家庭から人づくりをすすめましょう。

○年間の地区・学校行事が分かるように情報の発信・交換・調整をすすめましょう。

（活動例）リーダー養成、人材バンク、情報交換、勉強会、地区ボランティアセンター、役割分担、地区ネットワーク形成

その3「交流でひろげよう人と地域の愛」

○地区の交流活動や行事の情報収集・発信の窓口として地区福祉推進委員会を知っていただき、ふれあい活動を強化・充実しましょう。

○交流を盛んにするため地区内の自治公民館の取り組みや学校・PTA行事の情報などを広報などを活用して、地区内に広く紹介しましょう。

○地区福祉推進委員会が、地区公民館、自治公民館、民生委員、学校、福祉施設、官公庁などの活動の実態を把握し、情報を共有化することで、みんなが参加できるよう地区の行事を工夫し、活動を充実しましょう。
※福祉施設～社会福祉事業を実施する施設の総称。老人ホーム・保育所・救護施設などの社会福祉施設。

○自然・環境活動、文化活動、世代間交流、学校との地域の交流などにより地区でのふれあい交流をすすめましょう。

○地区のみんながすすんで声かけ・あいさつ運動を継続し、研修や学習を通して、福祉に関する実践活動をすすめましょう。

○ボランティアに関する理解を深め、自主的なボランティア活動をすすめていきましょう。

（活動例）実態調査、広報活動、情報交換、声かけ・あいさつ運動、環境活動、小さな親切運動、文化活動、世代間交流、福祉学習会、ボランティア研修、ボランティア活動

その1「みんなが安心して生活できる妻ヶ丘地区」

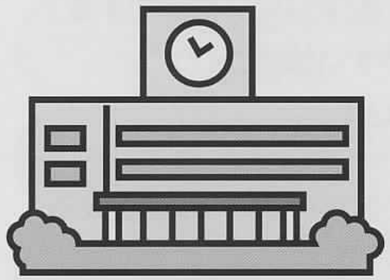
（福祉のまち　かおがまつ会）

柱	項　　目	第1段階	第2段階	第3段階	もっと先の夢
実態把握	■地域の（生活全般の）現状を把握しましょう ～道路の状況（デコボコ、狭さなど）～ ～ゴミの状況（ポイ捨て、不法投棄など）～ ～安心と安全の状況（災害、安否など）～	地域住民が歩いて発見した課題や問題に基づいて、地区策定委員が地域を歩いてみる（体感することから） 関係者（地域福祉推進者）の共通理解をしてみる	把握したニーズや課題を関係者で整理する	整理された課題に基づいて関係者で協議し、具体策や方向を示す 地区策定委員の委員と共に、自治公民館長、民生委員児童委員。ボランティア等が共に行う	みんなが安心して生活できるための「**妻ヶ丘安心マップ**」を作る
公民館加入促進	■加入促進のために取り組む方法を考えましょう	行政、自治公民館、民生委員児童委員、ボランティアと話し合いの場を設ける			自治公民館未加入ゼロの「**かおがまつ 妻ヶ丘地区**」を目指す
相談窓口をつくる	■気軽に相談できる「人」・「場」を設けましょう	妻ヶ丘地区福祉推進委員会の組織の拡充、強化のための話し合いをする（自治公民館長、民生委員児童委員、ボランティア、地区策定委員等）	強化のための学習会や情報交換会を実施する	地区福祉推進委員会の中に生活全般の課題に対応できるような相談窓口を設置する	「**福祉カレンダー**」をつくる（※活動メニューが一目でわかるようなもの）
ボランティア育成・ニーズに対応できる体制づくり	■地球の様々なニーズに対応できるボランティアや人材を育成しましょう	地区内で活動する様々な人材やボランティアの現状を把握する	把握された地区内の人材やボランティアが一堂に会し、意見交換や情報交換をする	地区内の人材やボランティアと共に共通理解を図る研修会や学習会を実施する 地区の人材バンクを設ける（※登録制にして…）	自治公民館に**福祉部**を設置する
把握したニーズに対応する活動	■みんながいつも集まる場を設けましょう	地区内のニーズに対応するために地区福祉推進委員会を強化する	地区全体での取り組みや計画を地区福祉推進委員会が立てる。そしてまず地区全体で取り組む	身近な地域である各自公民館公民館で計画し、取り組んでいく	自治公民館が気軽に利用できるようなサロンを設置する

その2「みんなで支えあえる人づくり」

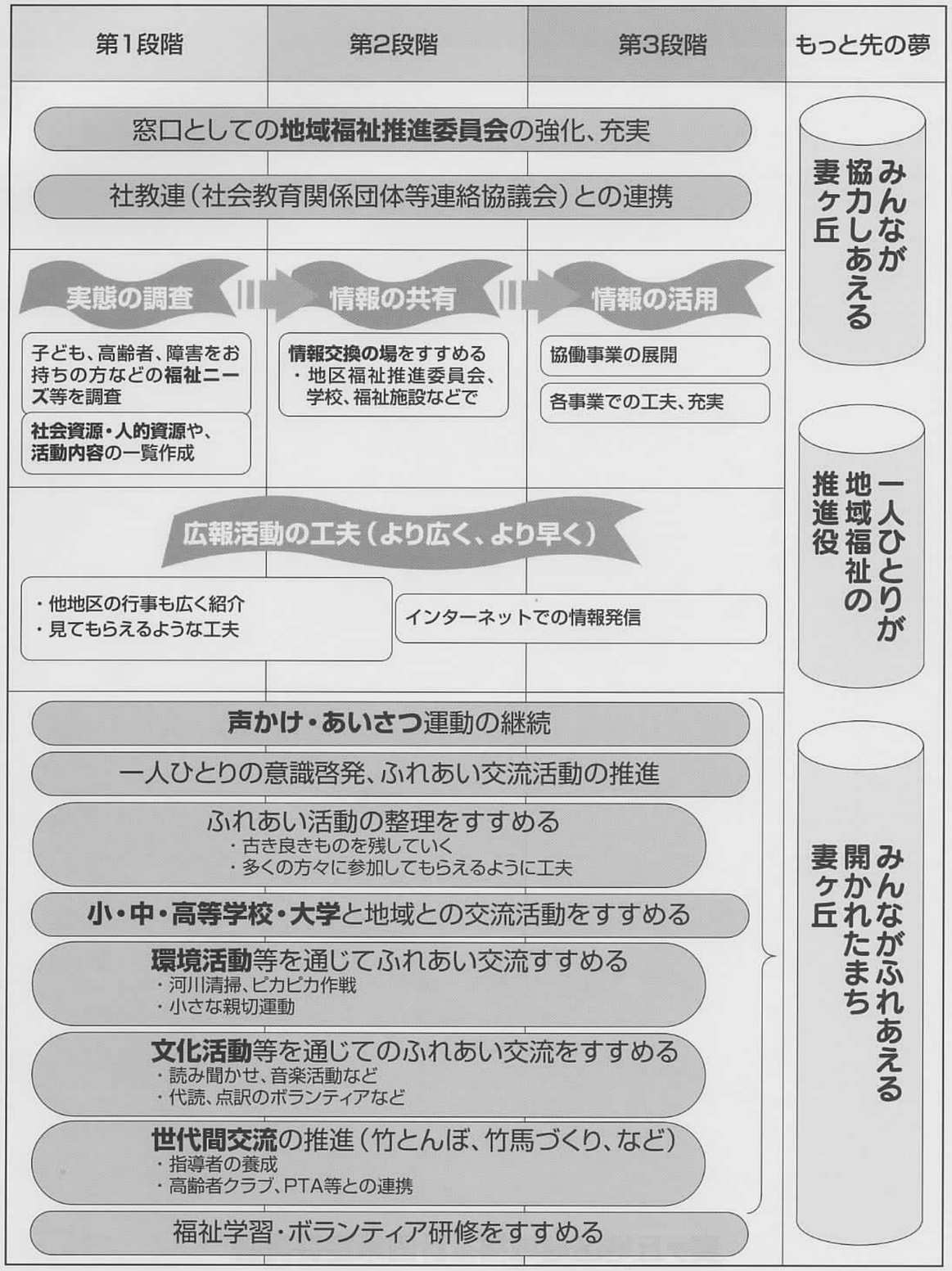
柱	項　　目	第1段階
人づくり	■家庭から人づくりを行います ■福祉学習会を設けましょう	地区福祉推進 現在行っている行事など、ふれあいを通して人づくり（心づくり）を継続 ホップ!
人材の活用	■リーダーを養成しましょう ■ボランティア養成しましょう ■人材を活用できるシステムを確立しましょう（人材バンク）	
支えあうシステム	■公民館との連携を図りましょう ■情報交換の場を設けましょう ■ネットワークづくりの取り組みをしましょう	
既存組織の活用	■特定の人への負担を軽減する取り組みをしましょう（みんなで協力する） ■既存組織の基盤強化を図りましょう	
情報発信・交換・調整	■地区や学校での行事を紹介しましょう ■地域と学校と情報交換を行いましょう ■情報の伝達方法を検討しましょう	

（福祉のまち　かおがまつ会）

第2段階	第3段階	もっと先の夢
委員会が中心となってすすめていく		
地域の中で人材を養成する 地域の行事へ参加している方々の中から人材を発掘する 継続した取組み （リーダー養成・ボランティア養成）		養成したリーダーやボランティアの人材が活用できるシステムや地域のことについて様々な情報が得られ、また相談できる機関の整備
既存組織を強化するために情報交換や勉強会などの機会を設ける	**昔と今を比較して昔の良いものを学べる機会を設ける**	
みんなで行事に参加するように呼びかける 	**大人主導ではなく、子どもにも企画の段階から役割を担っていただくことで自主性を持たせる**	妻ヶ丘地区 社会福祉協議会
	高齢者の力を生かし人づくり（昔ながらの伝統文化やおもちゃ作りを子供たちと行う／地域内で三世代交流）	ボランティアセンター 人材登録バンクなど
地区・学校行事の情報発信 		
ホップ!	ステップ!!	ジャンプ!!!

その3「交流でひろげよう人と地域の愛」

柱	項　　目
窓口の必要性	■社会資源、人的資源（人材等）の一覧があると良い ■実態調査の必要性 ■交流や行事を調整できる窓口が必要
情報交換の場	■行事での事前の連絡調整に時間や手間がかかる 関係団体等で意思疎通できていない ■学校、自治公民館、民生児童委員、福祉施設等などで、 行事や受け入れ体制などについて、地域内で話し合い の場を持つ
地域へのPR	■地区内の各自公民館の取り組みを広く紹介していく ■自分の自治公民館以外の情報をほとんど知らない ■館報、回覧板、広報誌の工夫が必要 ■学校行事などでの地域の方々への呼びかけを工夫していく
地域での ふれあい交流を すすめる	■声かけをすすめる　顔を知ることが交流につながる ■民生児童委員が中心になり、声かけ、見守りをすすめる ■個人の意識啓発 ■現在行っているふれあい活動は、継続することが大事 ■季節感のある行事をすすめる ■自治公民館での行事（十五夜、まつりなど）に参加する ■高齢者、障害者にも利用できやすい体制づくり （自治公民館のバリアフリーなど）
ボランティア 活動をすすめる	■「ボランティア」「PTA」という言葉のイメージを変える ■研修会、学習会で共通理解していく ■自主的な活動を推進していく ■総合的学習で育んだ「福祉のこころ」を地域へつなげる



妻ヶ丘地区地域福祉計画策定委員会